

製品名: NMDAR2A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03787**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 165 kDa; Observed MW: 165 kDa

抗原情報

遺伝子名	Grin2A
別名	NR2A; GluN2A; NMDAR2A; GluRepsilon1
遺伝子 ID	14811.0
SwissProt ID	P35436
免疫原	マウス NMDAR2A の組み換えタンパク質

背景

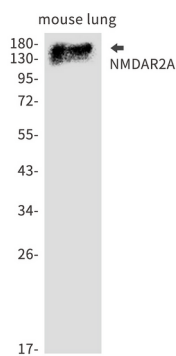
NMDA 受容体複合体の構成要素であり、ヘテロ四量体のリガンド依存性イオンチャンネルとして機能し、高いカルシウム透過性と電圧

依存的なマグネシウム感受性を有する。チャンネルの活性化には、神経伝達物質グルタミン酸がイプシロンサブユニットに結合し、グリシンがゼータサブユニットに結合し、さらに Mg^{2+} によるチャンネル阻害を解除するための膜脱分極が必要である。グルタミン酸に対する感受性とチャンネルの動態はサブユニット構成に依存し、GRIN1 と GRIN2A を含むチャンネルは、GRIN1 と GRIN2B によって形成されるチャンネルよりもグルタミン酸に対する感受性が高く、動態が速い。興奮性シナプス後電流の緩徐相、長期シナプス増強、および学習に寄与する。

研究分野

神経科学

画像データ



NMDAR2A 抗体を使用したマウス肺溶解物中の NMDAR2A のウエスタンブロット分析。